

カナダ・オジブエ先住民

水銀被害の 歴史と現在

—カナダの水俣病—

シンポジウム

「カナダ・オジブエ先住民 水銀被害の歴史と現在 —カナダの水俣病—」

報告者 ————— マーヴィン・リー・マクドナルド (ヴァバシムーン)
サイモン・フォビスター (グラッシー・ナローズ首長)
ルーシー・フォビスター (グラッシー・ナローズ)
最首 悟 (和光大学名誉教授)
花田 昌宣 (熊本学園大学・水俣学研究センター長)
森下 直紀 (和光大学)

2017. 2. 22 (wed)

18:30 ~ 21:00 (18:00 開場)

和光大学ポプリホール鶴川 3階 多目的室

参加無料／予約不要 どなたでも参加できます

主催：和光大学地域連携研究センター 熊本学園大学水俣学研究センター

後援：東京 水俣病を告発する会

シンポジウム

「カナダ・オジブエ先住民 水銀被害の歴史と現在 ―カナダの水俣病―」

カナダ・オンタリオ州のドライデンにある製紙工場からワビグーン川に水銀が排出され始めた1962年以降、排出された水銀がその下流1000km以上の河川水域を汚染した。ワビグーン川が接続するイングリッシュ川から魚を獲ていたヴァバシムーンとグラッシー・ナローズという2つの保留地に住むオジブエ族の人たちは、知らないうちに日々の魚から水銀を体内に取り込むこととなった。

カナダよりも早く水銀の被害が発生していた日本の医師・研究者たちは、1975年から度々現地を訪問し、水俣病の発生を報告してきた。それ以後、現在までの40年以上にわたって、日本とカナダの交流が続けられてきた。

今回のシンポジウムでは、日本で水俣病が確認されてから60年を経た現在において、世界の水俣病汚染の被害と実情、現在までの水銀汚染と水俣病の調査研究、そして被害民の補償救済の状況について、日本とカナダの代表者が報告をおこないます。

和光大学ポプリホール鶴川へのご案内

小田急小田原線 鶴川駅〈各駅停車 / 準急 / 区間準急停車駅〉(北口)から徒歩3分

和光大学ポプリホール鶴川
〒195-0053 東京都町田市能ヶ谷1-2-1 (指定管理者)
一般財団法人 町田市文化・国際交流財団

- ※ ホールには来館者用の駐車場は有りません。
- ※ 近隣の一般有料駐車場をご利用下さい



 和光大学

【お問い合わせ先】

和光大学地域連携研究センター (※ポプリホールへの連絡はご遠慮ください)

〒195-8585 東京都町田市金井町2160番地 Tel: 044-989-7478 Mail: nmr7091@wako.ac.jp